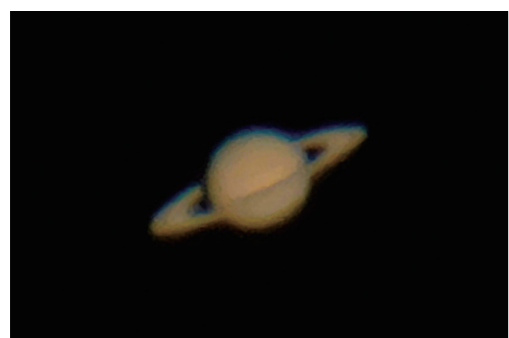


エンジョイ!スタープロジェクト! 共働事業提案制度

10月28日(土)にエンジョイ!スタープロジェクトが宇美小学校区コミュニティ運営協議会の主催で開催されました。昨年度に引き続き、主に子どもたちを中心に、宇宙や星空に触れる機会を提供しようと計画されたものです。屋内のスクリーン投影型プラネタリウムで当日の町の星空を見たのち、グラウンドに出て5台の天体望遠鏡で実際に天体観測をしました。

土星の環やM57惑星状星雲など、なかなか目にすることができない天体の美しい姿に、思わずため息がこぼれていました。

河島会長は、「いつの日か宇美町全体で明かりを落とし、一斉に空を見上げるような、心を一つにできる事業が出来れば」と話していました。「宇宙」が「美しく」見える町、宇美町。皆さんも、宇宙に想いを馳せてみませんか?



▲土星の環が綺麗に見えました♪



▲一生懸命望遠鏡を覗きます。

第2回 宇美東元気フェス 共働事業提案制度

11月23日(木・祝)に、第2回 宇美東元気フェスが宇美東小学校区コミュニティ運営協議会の主催で開催されました。会場では、中学校のブラスバンドをはじめとしたステージ発表や各自治会からの出店に加え、消防車も登場し、大変盛り上がりしました。

この「光」をシンボルテーマにしたフェスのフィナーレは、昨年はスカイランタン、今年は花火が会場を彩り、感動的な雰囲気になりました。

一人一人が願いを込めることで、宇美東全体が明るく希望にあふれた「光」に包まれます♪



▲会場は大賑わいでした。



▲光に包まれた感動のフィナーレ♪

第24回宇美町少年・少女の主張大会最優秀賞 令和5年度「青少年の声」標語入選作品

11月19日(日)地域交流センター2階多目的ホールで、「第24回宇美町少年・少女の主張大会」、「令和5年度『青少年の声』標語表彰式」が開催されました。最優秀賞作品と、標語の入選作品をご紹介します。今回は小学校の作品です。



「宇美町少年・少女の主張大会」とは

子どもたちに、広い視野をもって論理的に物事を考える力や自分の主張を正しく理解してもらう力、柔軟な発想力や創造力などを身につけてもらうことを目的として実施されています。各小中学校の代表が、家族や学校、地域について日ごろ感じていることなど、自由な発想で主張しました。

最優秀賞 宇美小学校 6年 宮内 彩(みやうち あや)さん 宝物の言葉

「ありがとう」「ごめんさい」
この2つの言葉は、私が幼いころから大切にしている言葉たちです。5文字と6文字のとても短い言葉たちですが、簡単に言葉にできる時と、なかなか言葉にできない時があります。
なかなか言葉にできないそんな時、とても便利なものがあります。SNSです。私たちはSNSを使えば、いつでもどこでも簡単に自分の気持ちを相手に伝えることができます。
私はバレーボールを習っています。試合後の帰り道、チームメイトからSNSで「今日はありがとう」「おつかれさま」といったメッセージをもらったことがあります。そのメッセージを見て、私はうれしい気持ちでいっぱいになりました。SNSは私たちがうれしい気持ちにさせる、とても素敵なツールです。
しかし、その一方で、SNSの使い方をまちがえた結果起こってしまう、悲しい出来事があることも、ニュースなどでよく耳にします。
244,940人、皆さんこの数字は何だと思いませんか。この数字は、2021年度の小中学生の不登校者数です。宇美町の人口は37,000人ほどですから、その約7倍の数の小中学生が、日本中で学校に行けない生活を過ごしている計算になります。
SNS上でのトラブルが原因で不登校になる人がいます。悲しいことに、私の友達の中にも今、この瞬間にも学校に行けず悩んでいる人がいます。SNSでのトラブルがきっかけとなっていじめにつながったり、知らない人と実際に会うことで危険な目にあったり、いざんしょになってしまったりといった様々な問題も毎日のように起こっています。
便利なものには、どんなものにもプラスの面とマイナスの面があ

ると思います。みんながみんなSNSをうまく使うことができれば問題は起こりませんが、現実にはそうはいきません。大人の世界でも様々な問題が起こっているのですから、子どもである私はなおさらです。今日にでもトラブルに巻き込まれてしまってもいいし、トラブルを起こしてしまうかもしれない。
では、私はどうしたらよいのでしょうか。
私は、可能な限り直接相手と会って、目を見て思いを伝えます。文字や記号、スタンプで自分の気持ちを伝えることと、直接会って気持ちを伝えることは、相手のとらえ方が全然ちがうと思うからです。SNSは速くて便利ですが、リアルタイムで相手の表情を知ることができません。その一方、直接会って話すと、自分の思いが正しく伝わっているかどうか、相手の表情や声のトーンから確認することができます。そして、修正をしながら伝え直すことができます。それに何より友達と笑顔で過ごすことができます。私はこの時間が大好きです。
「ゴー、チア、ゴー」
笑顔で生活することの大切さは、私のもう一つの習い事、チアダンスから学びました。
「どんな時でも笑顔でいれば、とっても楽しくて、良い気分になるよ」この言葉は、チアダンスの先生がよくおっしゃる言葉です。SNSを含めた人間関係の様々な問題の解決策のヒントはここにあるように思います。
ですから私はこの言葉をこれからも大切に、常に笑顔で過ごすことを心がけます。そして、これからも文字やスタンプ以上の気持ちを込めて、可能な限り直接笑顔で伝え続けます。
「ありがとう」「ごめんさい」

「青少年の声」標語とは

「学校・地域・家庭」をテーマに、「ふるさと・宇美町」の未来、あいさつや人を思いやる心の大切さなどについて、考えてもらうことを目的として実施されています。各小中学校から応募があった全2,897作品の中から最優秀賞、優秀賞を掲載します。

- 宇美小学校**
優秀賞 1年 山上 優心(やまがみ にこ)さん
うれしいな あいさつするのも されるのも
優秀賞 4年 廣田 蒼空(ひろた そら)さん
感じよう 地域の人 の やさしさや思いやり
- 宇美東小学校**
最優秀賞 3年 長濱 煌人(ながはま あきと)さん
大丈夫? ゆうきをもってつなぐよ 心のわ
優秀賞 5年 三野 歩夢(みの あゆむ)さん
助け合おう 未来が笑顔で あふれるように
- 井野小学校**
優秀賞 1年 大石 麻貴(おおいし あさき)さん
いちばんの たからものだよ そのえがお

- 原田小学校**
優秀賞 3年 坂口 真理(さかぐち まり)さん
宇美町の 未来にとどけ えがおいっぱい
最優秀賞 6年 光吉 彩織(みつよし さおり)さん
心の涙気づいてね 温かい気持ちのアンテナで
- 桜原小学校**
優秀賞 2年 野中 優菜(のなか ゆうな)さん
思いやり みんなでもとう やさしい心
優秀賞 5年 恒松 優菜(つねまつ ゆな)さん
ありがとうは お日さまよりもあたたかい
- 優秀賞 5年 坂口 穂乃華(さかぐち ほのか)さん
前をむいて なかまがいるよ ゆうきだそう